

# 決算

令和6年度一般会計・特別会計及び企業会計の決算が、市議会12月定例会で承認されました。皆さんに納めていただいた税金や国・県からの補助金などが、どのように使われたのかをお知らせします。

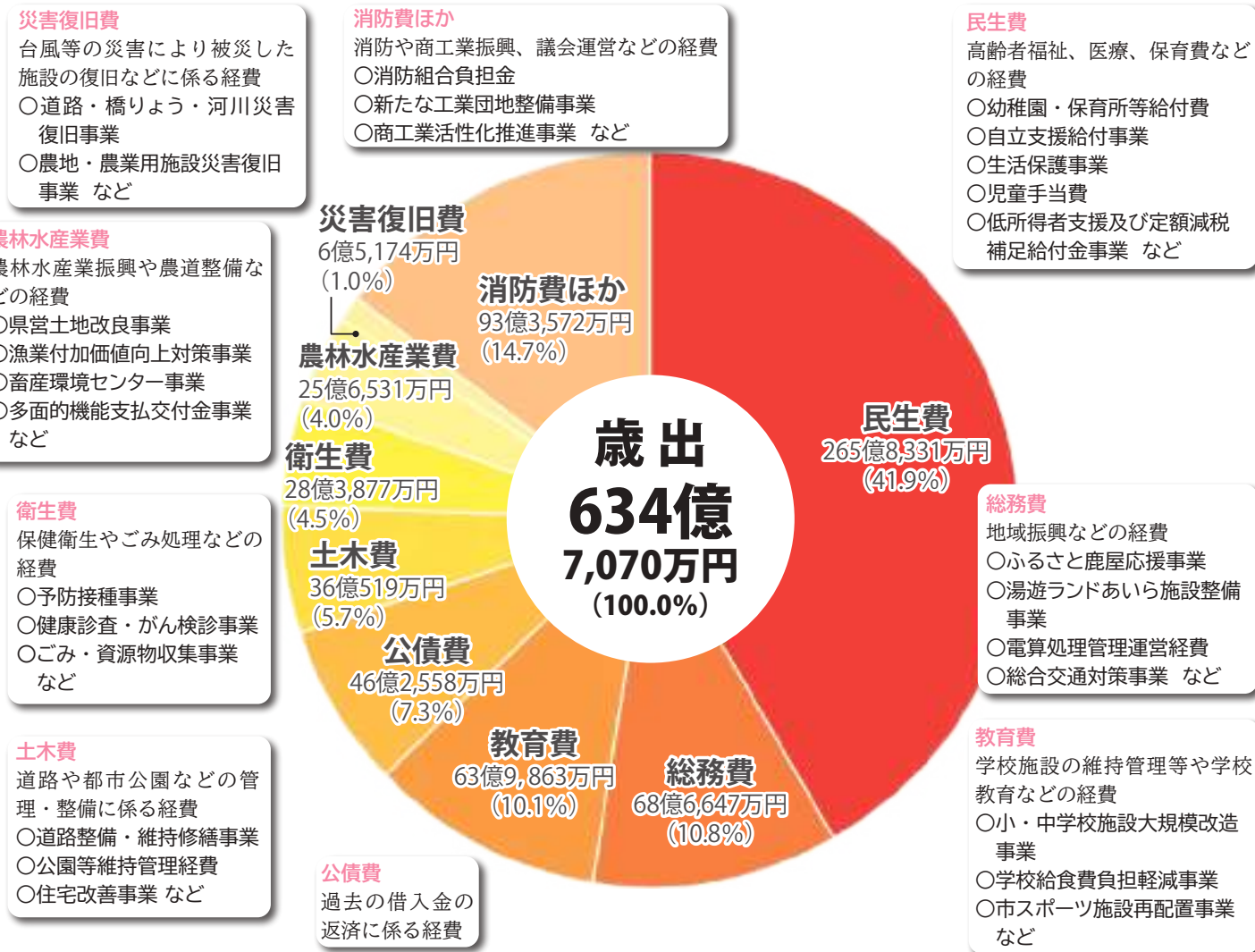
問市財政課 TEL 0994- 31 -1126

## 01 一般会計歳入

歳入は、定額減税の実施に伴う市税の減収や「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」、「社会資本整備交付金」などの国庫支出金のほか、ふるさと納税の寄附金などが減少した一方、地域の実情に応じて交付された「地方交付税」や、定額減税による市税の減収等を補填する「地方特例交付金」が増加となりました。

## 02 一般会計歳出

歳出は、エネルギー・食料品価格等の物価高騰への対応として、「低所得者支援及び定額減税補足給付金事業」や「保育所等給食支援事業」、「地域公共交通等燃料価格高騰対策支援事業」などによる市民や事業者への支援に取り組みました。また、市民と行政の協働によるまちづくりの指針となる「第3次鹿屋市総合計画」の策定をはじめ、小・中学校の給食費の全額を支援する「学校給食費負担軽減事業」や、妊産婦の産後支援の充実を図るため、宿泊型に加えて日帰り型も対象とした「産後ケア事業」、地域住民の複合化・複雑化した課題に関係支援機関と連携して一体的に対応する「重層的支援体制整備事業」などを実施しました。このほか、国が推進する税や福祉等の業務に係る情報システムの標準化・共通化に向けた「ガバメントクラウド移行事業」や太陽光発電設備・太陽熱温水設備を導入した「湯遊ランドあいら施設整備事業」、サッカー場やテニスコート等を備え、各種大会の開催やスポーツ合宿の誘致による交流促進が期待される「野里運動施設の整備」などにも取り組みました。



### ○一般会計歳出決算の性質別内訳

区 分		令和6年度	
		金 額	構成比
義務的経 費	人件費	72億4,764万円	11.4%
	扶助費	192億6,884万円	30.4%
	公債費	46億2,559万円	7.3%
	小 計	311億4,206万円	49.1%
投資的経 費	普通建設事業費	66億2,127万円	10.4%
	災害復旧事業費	7億4,847万円	1.2%
	小 計	73億6,974万円	11.6%
その他経 費	物件費	82億9,950万円	13.1%
	維持補修費	3億2,558万円	0.5%
	補助費等	51億7,734万円	8.2%
	積立金	63億5,740万円	10.0%
	貸付金	2,621万円	0.0%
	繰出金	47億7,286万円	7.5%
	小 計	249億5,890万円	39.3%
合 計		634億7,070万円	100.0%

### 様々な税金の使われ方

#### ■ 都市計画税の使われ方

都市計画税は、都市計画法に基づいて行う都市計画事業、又は土地区画整理法に基づいて行う土地区画整理事業の費用に充てるため、都市計画区域内の土地や家屋の所有者に対して課税される目的税です。現在実施中の都市計画事業の財源の一部として活用しているほか、過去に実施した公共下水道整備事業等に係る市債の償還金として活用しています。

都市計画税 4 億 6,789 万円

#### ■ 地方消費税増収分の使われ方

平成26年4月及び令和元年10月に消費税率（国・地方）が引き上げられたことに伴い、地方消費税交付金の増収分は、その使い道を明確化し、社会保障に要する経費に充てるものとされています。令和6年度の地方消費税交付金のうち引上げ分は、子ども医療費助成や幼稚園・保育所等給付費など子育て支援に関する事業の財源の一部として活用しています。

地方消費税交付金の引き上げ分 14 億 2,262 万円

